福生新聞

発行所 福生町志茂映画館前
福生新聞社
電話福生422番
発行人 川上作司

立川、横田基地拡張に
砂川町 瑞穂町 反対運動を展開

砂川町

先年新潟県の内灘で射撃場接収問題で漁民が反対していた時は砂川村議会は反対漁民に激励電報を村議会の決議で送って都下町村当局をビックリさせた。ところが今度は砂川町で基地の拡張をするのだ……というので五万坪と百数十戸の住宅が買収予定になり、その内容説明をしたい……と東京調達局から通達を受けた町当局はビックリ、砂川町将来の浮沈に関する重大問題なりとし町議会を召集して基地拡張には絶対反対を表明、調達局の説明拒否、測量調査立入禁止すると共に、町議会正副議長を委員長とする斗争委員会を結成、町費十万円を支出して斗争資金とし全町民の署名ならびに委任状をとり、いわゆる「町くるみ」の反対斗争に入ると共に共斗方を瑞穂町に申し入れた。

砂川町で 住民大会

立川基地拡張計画に絶対反対運動を展開中の北部砂川町では十五日夜八時から同役場に地元四番、五番部落を中心に関係町民百五十名が集まり住民大会を開いた。田中闘争副委員長をはじめ、さきに設けられた企画、宣伝各部長から現在までの経過報告が行われたが、調達庁側からの圧力に対しては断固はね返すことの再確認、引続き今後の対策につき協議した。

瑞穂町

一方共闘申入れを受けた瑞穂町は米軍に基地を貸して利益をあげている新立川飛行機株式会社から年一千四百万円の固定資産税が入り日本一安い町民税で都の成助を受けずにやって行ける砂川町と財政の面で大変趣が異っている関係上から都や政府に真向から立て付かず関係地主側の盛り上る感情をまってから……でも遅くはないというような方針で調達局の説明も町議会は一応聴き、従って横田基地の拡張計画の内容買収予定地域一五万七千坪、障害物除去地世帯として軍が借り上げる地域四万八千坪とハッキリ解り、二十余万坪は瑞穂町の農耕地の五分の一に相当するので瑞穂町議会としては「この計画に対しては絶対反対である」……と席上表明して説明会を閉じ引続き全員協議会を開き、翌日関係地主を集め、調達局の説明内容を説明すると共に、拡張計画には絶対反対を再確認し、反対運動を展開することとなった。

一方関係地主側はすでに川島喜作氏を委員長とし基地拡張反対期成同盟会が結成され理屈抜きの「絶対反対」で進むことになり原島町長、吉岡議長、川島同盟委員長等代表者によって左の陳情書を調達庁、日米合同委員会、衆参両院へ提出、更に町内会長、農業委員等との協議会を開き拡張反対を町民に徹底させることになった。

陳情書

今回の横田飛行場整備のための土地追加要求は当町としては真に忍えない要求である。いまいでも飛行機の騒音、墜落、教育の低下農作物の被害、道路の破損、自動車事故など多くこのうえ膨大な拡張があれば従来平均四反歩余の零細農家は失職し転業もおぼつかなく、路頭に迷う者が続出するのは明らかな事実である。また滑走路が町の中心部へ突出するので騒音激しく、危険は増し産業は衰え残された耕地はなはだしく迂回して耕作しなければならない等惨状このうえなく長い歴史を持つ当町が一変する状態にある。このような計画に対しては当町民一同等しく絶対に強く反対するものであり、買収を前提とした立入調査にも反対する。なにとぞ当町の微意をくみとり計画を取消すようご配慮願いたく代表一同連署して陳情する

秋多町々制施行
祝賀式挙行

新町長村木光三氏

多西、東秋留、西秋留三ヶ村合併してた秋多町では公選の結果三十日新町長に当選した村木光三氏を迎え去る五月八日東秋留小学校庭に衆参議員都会議員関係官庁、都下町村長、町村議会議長並に町内代表者等約三〇〇名を招待して盛大に開庁式を挙行、なお当日は小学校学童の旗行列、青年団の祝賀演劇、馬鹿囃子等あり町内挙げて秋多町の発足を寿ぎ将来の発展を祈念した。

村木新町の抱負

なお秋多町の新町長に当選した村木光三氏は町政に対し左の如く大網を語った。

一、旧三ヶ村民の気持が融合し円満なる秋多町となること。
一、都市近接地としての産業的発展の途にすくむ。
一、草花、秋川の自然公園を生かし多摩秩父国立公園東京の観光センターとして観光、産業の結合せる発展方法を採る。
一、町内に社会福祉的事業と施設を出来る限りとり入れたい。
一、新町としての建設を計り適正規模の自治体としての良さを発揮する。

難行予想の五日市町政

五日市町、小宮、戸倉、増戸村の四ヶ町村が合併し新しく六五日市町を形成した五日市町の新町長戦は、町村合併に貢献した前五日市町長星野良一氏が楽勝するものと一般にみられていたところ、意外にもその予想を裏切って森谷勇吉氏が当選してしまった。この番くるわせにろうばいした地元五日市町及増戸ではそれぞれ議員総辞職問題まで持ち上ったり、婦人会、青年団等相当の動揺をしたようだった。

併し一方戸倉の有力筋は町議会で星野氏を推薦し、それを一般町民に押しつけようと今様翼賛政治の再現のようなことをやったための反バツで森谷氏が当選したのは当然だ……とみている。

一方五日市、増戸側は町議会で星野氏を推薦した反撥だ……といっているが、その裏には山林三百二十二町歩のうち、僅か百〇八町歩を新五日市町に譲渡し、残りの二百十四町歩を「戸倉村財産管理会」を結成して村有財産の温存にきゅう〜としている元戸倉村の有力筋の策動にあった為だ……としている。というのは元戸倉村が財産区を設定しても、その財産管理委員会の長は町長がなることになっているたてまえから、戸倉からすれば星野氏よりも人物的には物足りないが、その物足りない森谷勇吉氏を町長とする方が有利だ……とみて星野氏の新町長に不信の態度を示したものとみてよかろう……といっている。

以上のような対立的状態を今後続けるにおいては折角合併しても事毎に対立の状態を町政の上に露呈し、その間に挟まって森田町長の難行苦行の時代となり今後の五日市町政が思いやられるに至った。

拝島農協総会
組合長臼井直三氏

昭島市拝島農業協同組合では去る八日総会を開き左の通り役員が改選された。

組合長臼井直三
理事 細井徹雄、秋山則之、臼井直三、秋山定治、谷部米吉、谷部精一、梓淵金平、高橋菊之助
監事 小山明、和田浩、矢島武市、小林宗一、堀口政吉

大久野、平井合併
六月一日 日の出村として誕生

町名問題で両村の意見が対立したため合併問題に一トン座をしていた大久野村、平井村の合併問題は去る四月二十八日都側の斡旋で日の出村とすることに決定、来る六月一日芽出度新発足することになった。

瑞穂町で 次点中野派が異議申立

瑞穂町々議戦に二票の差で次点となり落選した中野源之助氏派では、中野源之助氏の家宅捜索と言いてあったものが、二、三票見受けた……と他派立会人の口からもらされた為め、捜索は中野源之助を指して投票したものであるから、事実そうした投票があったとすれば中野源之助の票として数えるべきものだ……実際に捜索と書いた票があるか無いか、再調査したい……と町選挙管理委員会へ申立手続中だとある。

選挙法では屋号又は略姓は前以って届出でなくとも本人であるということが、はっきり判っていれば有効として取扱っているようであるから、若し再調査して捜索という投票が二枚でも二枚でも出れば有効とする公算が大で中野派が有利になるようだ。

村木都議と 木村町長コンビで 観光奥多摩町建設へ

古里、氷川、小河内の三ヶ村合併した奥多摩町の新町長は無投票で町村合併に貢献した温厚と信望のある木村源兵衛氏が町長と決定して、町全体になんとなく落ちつきが感ぜられ、心安く奥多摩町の建設に邁進できよう。

殊に都議戦には挙町一体となり村木光三氏を都議会へ送り得たことはなんといっても新しい奥多摩町観光奥多摩町の建設に大きい力となるだろう。

後に尾を引く 選挙戦のシコリ 砂川町

さきの都議戦では前町長の浩松貞次郎氏が立候補したが、惜しくも落選してしまった。

砂川町全体が一丸となって支持してこそ始めて他町村の支持が得られるのだ、それを地元から浩松を落せ……という反対が挙がっては落選するのはあたりまえだ、町から都会議員を出して貰うことは何んといっても町のプラスになるものを惜しいことをしたものだ。

町長戦では宮崎派が代理投票の際不正が行われた……というので町選挙管理委員会を相手に選挙無効の申請が出されてその成行が注目されている。

福生町議会の新人に批判！
近く自己反省の会を

過般執行された町議戦の結果、旧人十一名に対し十三の議席をかち得た新人に対し旧議員と対立せよというのではないが、多少は清新味は出るだろうと町民一般から期待されていたところ、正副議長、常任委員長並に各種常任委員選出をする初議会を前にして一個人議員の名において特定の十九議員だけが、しらさぎ旅館に召集され議会役員の選出にはこれ〜しかじか……と御宣托を受け、更に十九名の選から漏れた五名の議員も当選早々でもあったので……と大勢に引きずられたという印象を一般に与えたことが、期待されていた新議会だけあってボス町政への移行が懸念されるに至り、一人の議員にしてさりまわされるなんて新人何をしているんだ……といわれそれでは余りに追従に頭し、無気力に流れ、新人としての清新さもなければ、迫力も無いではないか……という批判の声にビックリした新人はお互新人同志個人の立場から自己反省の機会と、町政並議会運営面の研究を……というので近く新人十三名が会合しようと寄り寄り話し合っているようだ。

新緑の秋川へ
次の間付お座敷

秋川渓谷 石舟閣 電五五五番 一三八

五日市局 新設電話開通

五日市局管内新設電話の架設は去る四月二十一日〜二十三日までに終り左の十四個所の開通をみた。

三二六 こぐま屋総橋繁男
三二七 質店 内山泰三郎
三二八 青木電気商会
三二九 履物店 清川熊
三三〇 坂本毛糸店
三三一 かすみ屋菓子店
三三二 青果商中村竹八
三三三 豆腐商高山忠治
三三四 犬養歯科医院
三三五 稲垣医院
六二乙 池田自転車店
三三六 五日市町役場
三三七甲 五日市町役場
三三七乙 町立さくら保育園

おくりもの には……
三井漆器店
福生駅前 電448

新市会成立で 本格的軌道に！
昭島市政

昭島市議会議員選挙の結果は拝島側乱立の結果昭和側と議員数において劣勢となり、勢力がアンバランスとなり市政運営の上に多少ゆう慮されていたが議会役員選出の結果、議長、委員長と重要ポストで均衡がとれた為今後の市政運営の上に円満なる運営の見透しが出来るに至った。

当初予算における無理な予算編成も新市議会で千五百万円程度の削減をして健全財政に組替えられるものと期待され、合併後どうかすると昭和側の放漫財政に不信をいだき分村も欲し方ない……という気持を持っていた拝島側もやっと落つき昭島市政も新市議会より軌道に乗る明るい見透しとなった。

茶業振興会結成

西郡下の茶園主及製造業者、茶業に関係する者の茶業振興に関する知識技能の向上優良種苗の斡旋導入会員相互の技術の向上連絡を目的として西郡茶業振興会を結成することになりこれが結成式をさる四月午後一時より福生町中福生会館に開き左の役員を決定した。

会長 森田孝治
副会長 増戸石井常助
西多摩村 中野源一
委員 秋多町内田嘉一郎、瑞穂町吉岡親一、平井星野仁一、西多摩村橋本松吉、増戸田中庄作、松原高取六太郎
監事 星野仁一、吉岡親一

会員は西郡各町村および青梅市等西郡全域にわたり約三百名。

なお同会は早速さる十一日十二日の両日瑞穂町で生茶の手もみ講習会を開きさらに十六日増戸石井方平井等漸次同様講習会を開く予定となっている。

爽かな初夏に オープンシャツ
タケシマヤ
TEL 259

株式・公社債 投資信託 売買
多摩証券
ニュー福生前 電四二二・五七四

最上醤油
キツコーキウ
武蔵野市 久野木醤油店 電話7825

祝 秋多町々制施行
秋多町々議会議員

細谷政夫 坂本作兵衛
田中孝道 田中治光
岡野孝一 金子藤三郎
塩野忠治 小山重文
鈴木利助 粟沢増三
中村良一 石川松太郎
石井五一 森正二
古山惣重 町田久次郎
岸野嘉花 山本喜代作
橋本孝二 並木吉五郎
近藤秀雄 中村中蔵
堀江利一 瀬沼寿一
中村幸一 丸山芳太郎
田中知章 田中淳三
岡部喜之作 野口正博
岡野 山本久太郎
浦野唯一 小林泰男
沢井伝次 石川新七
三浦富雄 森田忠順
金子由太郎 森田新三
平野緑之助 小林百助
田中長左衛門 上杉孫一
田中安二 福岡安治
橋本庄吉 山崎健吉
関田繁一 中村秀正

教育委員

平野孝治 石川仁十郎
影山林 塩野治男
野口正博

農業委員

岸野薫 山本茂平
平原愛之助 井草伊次郎
小林富十郎 吉沢長三郎
小山庄作 塩野半十郎
内田嘉一郎 武内正治
近藤信良 吉野忠二
久野木門一 御手洗仁三郎
前田永吉 渡辺初一
谷沢民之輔 坂本盛光
山崎健一 高橋清重

檜原村農協浮貸問題

政治問題化の様相を呈す

協同村農業協同組合の幹部が昭和二十七年ごろ八万円ほどの浮貸しを行なわれ、同村農業協同組合は、五百万円が、同工場、営業不振のためコケ付となるにおよび、そこで過剰産業されて行政運営に際しても、別産対策に、再建を組織して立案審議して、産業

色三氏落選となるや、その期待を失なった同村神戸部務の大谷正子谷倉喜一氏を筆頭とし小沢、小谷廉馬、数馬、人見、柏木の各議長は野村村長、大屋敷、一氏、農協再建の方策を講ずるよう運動を展開するまでに至り、同農協の浮貸問題は一応にかゝって新村長土屋敬一氏

がなどのような取扱い方をするかに、ようて政治問題化、る様相を呈すると至った。（写真は土屋村長）

檜原村

議長 山本 泰
副議長 山口浅吉
総務委員長 栗原 登
交通委員長 小林重太郎
谷倉之助
委員 岡澤義美、中村正弓、大
経済委員長 坂本喜助
委員 井上行雄、高橋子後、坂
厚生委員長 高木秀久
本倉一。
教育委員長 井上行雄

青梅市議会

議長に柳内氏選任

青梅市議会初選会は去る十六日午後一時より公会議場上で議長選挙がなされ、病気中の山崎文五郎氏に名代無欠全員出席、年長の柳内議員が仮議長となり議事を進行、候補者は野村村長、大屋敷一氏、農協再建決定の為、正副議長の選挙を投票によって行われ結果

柳内平三郎 一票
榎本 栄蔵 一票
吉原 千吉 一票
高野 吉雄 一票
吉原 千吉 一票
吉原 千吉 一票

で、小貫木村長、同農協理事長たった振内平三郎氏が議長に当選決定、次で副議長は投票選挙の結果

吉原 千吉 八票
榎本 栄蔵 一票

となり、吉原千吉氏が副議長に決定された。
尚各委員会は一日日決定の予定。

榎戸新市長の第一声に期待

榎戸市長は初市会開会に当たり、健全政治を基本とする建前から出来る限り公約を遂行し、市政の発展に努力する。

「われわれ青年の演技は相当ドウ」
「いろいろ青年の演技は相当ドウ」
「に入ったものだ」
「去る百月八日午前三時より東秋留西工会館で秋多町

秋多町東秋留
青年団の
演劇発表会

秋多町東秋留青年団の演劇は先都一、われわれ青年の演技は相当ドウ、に入ったものだ」去る百月八日午前三時より東秋留西工会館で秋多町

ラス張りの市政、腐敗の人員整理を断行する……と希望、新市議会にその協力方を求めた……男とし ては知の乗り切り方を誤り、市民の視線市長のハリキリ第一声である。

四ヶ月合併重要の市政の円滑な運営は絶対に必要であり、合併問題の四ヶ月の役場職員を配置致したが青梅市として一、都合村議会の建設、一、停車場前近の都市計画、一、都合村議会の建設に重点が置かれ、農業立村の村政から静かな住宅町建設へ移行されよう。（写真は井上村長）

井上村長迎え 西多摩村政

若返る

西多摩郡村長、下田伊左衛門氏消退し、新村長井上若平氏を迎えた西多摩村政は若返り キビキビ した施策が期待される。

「村長は最近に市副議長であったが、温厚な選挙吉重氏が副議長に、智識の小作達郎氏議長は現多摩村のベテランがづらと振り、並代表議士多摩間柴として正氏、鬼に会議というところ……さて打出される施策は

一、停車場前近の都市計画
一、都合村議会の建設
一、重点が置かれ、農業立村の村政から静かな住宅町建設へ移行されよう。（写真は井上村長）

西多摩村議会

議長 遊佐吉重
副議長 小作達郎
総務委員長 小作達郎
経済委員長 並木俊之助

西多摩村々営住宅建設に

村内業者献身的協力

大青梅市で支え昨年度に建設された市営住宅は五〇戸だというのに、村内業者の厚遇は、工事の進捗には相違して工期の契約期限を遅延して完成させているという誠実な施策に対しては、村内業者の厚遇は、村内業者の厚遇は、村内業者によって請負われ、村々営住宅は五〇戸だというのに、昨年度は五〇戸を建設し、住宅建設業者の利潤を図るという努力振りは、住宅困窮者の為にも、村内業者の厚遇は、村内業者の厚遇は、村内業者の厚遇は

市町村議戦得票数

青梅市（定員三六名）

当 八三一 山崎文五郎 無新
当 七三一 嶋崎 雄次 無新
当 七〇四 柳内平三郎 無新
当 七〇三 清水樫太郎 無前
当 六六六 沼田 正治 無新
当 六五九 三田 亨 無新
当 六五四 鈴木 峯吉 無前
当 六四八 宇津木源兵衛 無新
当 六三八 船木茂三郎 無新
当 六三五 小川 正吉 無新
当 六二一 吉沢 源造 無新
当 六一九 荒井 秀雄 無前
当 六一五 市川 喜十 無新
当 六一四 吉永 保男 無新
当 六一〇 中村 義直 無前
当 六〇三 清水 茂一 無新
当 五九三 金子太三郎 無前
当 五八九 青柳 雄一 無新
当 五八八 伊東 正治 左社新
当 五八二 高野 吉雄 無新
当 五六六 河辺 雄蔵 無新
当 五六三 吉崎梅之助 無前
当 五六三 関塚 貞作 無前
当 五六二 榎本 栄蔵 無新
当 五五四 橋本 庄蔵 無新
当 五五〇 鈴木 進 無前
当 五四八 吉原 千吉 無前
当 五四七 五十嵐茂夫 無新
当 五四六 高橋 輝一 無新
当 五四五 阿部三次郎 無新
当 五三八 土方 重義 無新
当 五三六 高山 平六 無新
当 五二一 長谷川善治 無前
当 五二八 鴨居 国松 無新
当 五一四 平井 峯吉 無新
当 五〇八 内田 勝蔵 無前
次点五〇四 山田 茂男 無新
当 四九三 北村 正治 無新
当 四九三 宿谷源之助 無新
当 四七四 梶 三吉 無前
当 四七〇 武藤 信一 無新
当 四五四 福岡 謙三 無前
当 四四一 小沢カクジ 無前
当 四一六 沼田 鷹成 無新
当 四一四 酒井徳三郎 無新
当 三九六 並木藤太郎 無新
当 三八五 大宮 一郎 無新
当 三七一 駒林 頼夫 無新
当 三五四 半田 延造 共新
当 一九〇 中村よしお 無新
当 一四三 斎藤 栄三 無新
当 一三三 斎藤 忠治 無新
当 一一五 小峰 秀之 無新
当 一一三 宿谷 勘助 無新
当 一〇八 平野新五郎 無前

昭島市（定員二六名）

当 五五七 加藤 仲治 無新
当 五四八 紅林 義一 無新
当 五三三 酒井 義一 無新
当 五一三 中野 茂一 無新
当 四五九 三田忠次郎 無新
当 四五七 河野 良機 無前
当 四五四 小幡 喜重 無新
当 四五四 川島 育男 無新
当 四五〇 森田 弥八 無前
当 四三一 大矢 孝 無新
当 四三八 若杉 金一 無新
当 四一九 関口 茂 無前
当 四〇三 鈴木 薫 無前
当 三九一 谷部 綿一 無前
当 三八五 臼井 舜一 無新
当 三六三 竹中 実恵 無新
当 三五四 並木 九万 無前
当 三五二 鈴木 直丸 無新
当 三四六 青木 富雄 無前
当 三三四 斎藤 長次 無新
当 三三二 小山 一雄 無前
当 三三一 大竹たけし 共産新
当 三一九 美濃和三造 無前
当 三一九 根岸 伍作 無前
当 三一二 中川 久也 無新
当 三一二 青山 政一 無新
当 三一四 小泡虎之助 無前
次点三〇七 乙幡広三郎 無前
当 三〇三 原田 円蔵 無新
当 二七〇 目黒 信一 無前
当 二六八 大貫福次郎 無前
当 二六六 上野 太吉 無前
当 二六三 依田 喜蔵 無新
当 二六〇 小泉孝五郎 無新
当 二三八 乙幡二三蔵 無前
当 二三六 野露 久雄 無新
当 二三三 小町久四郎 諸新
当 二二一 染谷 島吉 無新
当 二一八 大野たかし 無前
当 二一四 堀尾 晴一 無新
当 二一二 粟野 佐助 無新
当 二〇六 羽生田勝康 無新
当 二〇〇 山田 明 無前
当 一九九 関 不二雄 無新
当 一九九 神山 又男 右社前
当 一五九 五十嵐 毘 無新
当 一三六 宮岡 栄一 無新
当 一三四 小田 貞一 無新
当 一三二 江口 春雄 無新
当 一三一 古屋佐吉郎 無新
当 一〇三 原口 忠章 無新
当 六七 森用 武 無新

福生町（定員二三名）

当 三七七 森田 幸蔵 右社前
当 三六六 村尾 種吉 無前
当 三六二 高橋 三郎 無前
当 三三七 大久保一郎 無新
当 三三五 米泉 薫 無新
当 三二二 田村 祐一 無新
当 二八〇 田村 利一 無前
当 二八〇 西村 光人 無新
当 二七三 森田 誠重 無前
当 二六一 中西 虎蔵 無新
当 二六〇 石川常太郎 無新
当 二四四 設楽 美知 無前
当 二四三 高橋 喜市 無前
当 二四二 村尾 四郎 無前
当 二四〇 並木 秀 無新
当 二三三 瀬古 清蔵 無前
当 二三三 飯野富十郎 無新
当 二三二 山下 幸三 無新
当 二二一 森田 喜一 無前
当 二二〇 清水 与一 無新
当 二一七 渡井 明 無新
当 二〇三 井上熊太郎 無前
当 二〇三 石川 信義 無新
当 二〇一 中森 与一 無新
当 一九二 井梅 泰輔 無前
次点一九二 森田 喜作 無前
当 一九一 磯村 武夫 無新
当 一八六 溝口 安一 無新
当 一八三 村野 喜平 無前
当 一八二 平田 助熊 無新
当 一六七 伊与田三郎 無新
当 一六四 田村 福一 無前
当 一五〇 橋本 雄一 無前
当 一四七 吉田 清 無新
当 一四二 宝条信次郎 右社新
当 九二 船木 甚平 無前
当 八三 小川 隆吉 無新
当 七七 堀場 敏雄 共新
当 六八 神宮 末松 無新
当 五六 岩田 博 右社新
当 三九 沼和田喜之助 無新
当 二三二 石塚 喜作 無新
当 二二三 内 伊一 無前
当 二二一 萩野 新吉 無新
当 二一九 池田 利助 無前
当 二一五 村田 東次 無前
当 二一二 吉岡 敬治 無前
当 二一〇 鈴木 繁雄 無新
当 二〇一 中村誠一郎 無前
当 一九九 天野堅太郎 無新
次点一九八 原島平五郎 無新
当 一八八 猪俣貞治郎 無新
当 一七九 吉岡橘太郎 無前
当 一七四 原 武雄 無前
当 一四一 島海 邦勝 無前
当 一三七 内 次郎 無新
当 一八九 萩原 一治 左社前
当 一八五 田中 君興 無新
当 一六九 宮岡 重治 無新
当 一五五 遠 勝士 無新
当 一五一 島田 健吉 無前
当 一四四 小林 英嗣 無前
当 一四三 三鳴 清吉 無新
当 一四一 山川 徳蔵 無新
当 一一九 天田 英邦 無新
当 一一五 渡辺 伝作 共産新
当 四三 金子 ミキ 無新
当 九〇 吉沢 義秋 無前
当 一八九 萩原 一治 左社前
当 一八五 田中 君興 無新
当 一六九 宮岡 重治 無新
当 一五五 遠 勝士 無新
当 一五一 島田 健吉 無前
当 一四四 小林 英嗣 無前
当 一四三 三鳴 清吉 無新
当 一四一 山川 徳蔵 無新
当 一一九 天田 英邦 無新
当 一一五 渡辺 伝作 共産新
当 四三 金子 ミキ 無新

瑞穂町（定員一六名）

当 三〇四 栗原 舛治 無新
当 二八六 近藤仙太郎 無新
当 二六二 西村 信一 無新
当 二五七 吉野 為一 無前
当 二四八 川島 喜作 無前
当 二四四 高水 宗輔 無前
当 二三三 高橋新三郎 無新
当 二三七 古川 武司 無前

えのき
金融 田村質店

村山町（定員二〇名）

当 三五七 荒田 重之 無新
当 三三六 比留間堅司 無新
当 三一八 山崎 直吉 無新
当 二七四 波多野梅吉 無新
当 二五八 豊泉市五郎 無前
当 二五八 高山 友吉 無新
当 二三七 加納 治助 無前
当 二三四 峰岸 基一 無新
当 二三一 森谷源五郎 無新
当 二一九 渡辺 一雄 無前
当 二一八 比留間庫三 無新

産婦人科 内科 性病科 レントゲン科
大聖病院
福生町八七一 電話福生一〇四

西多摩村（定員一六名）

当 二八九 小作 達郎 無前
当 二六七 中野杉太郎 無新
当 二五七 島田 泰一 無新
当 二四八 下田 薩雄 無新
当 二四三 田村 喜市 無新
当 二四一 遊佐 吉重 無前
当 二四一 小山 義平 無前
当 二四一 羽村隣太郎 無前
当 二三〇 秋山 寿一 無前
当 二三三 森田 修策 無前
当 二一七 渡辺 武 無新
当 二一五 石川 文蔵 無元
当 二一三 臼井 貞三 無前
当 二一一 加藤伴一郎 無新
当 二〇六 下田 正之 無新
当 一九二 並木俊之助 無前
次点一九二 石田邦太郎 無新
当 一七七 大野 新市 無前
当 一六五 松沢 寿雄 無前
当 一六二 中里 九一 無前
当 九三 新村竹之助 社新
当 七八 中野 家一 無新

砂川町（定員二〇名）

当 二六五 鳴島 勇 無前
当 二五八 鈴木 治作 無新
当 二五八 内野 茂雄 無前
当 二五六 小林 皆吉 無新
当 二五〇 須崎 志摩 無新
当 二三五 砂川 昌平 無新
当 二三一 佐藤清太郎 無前
当 二一九 石野 昇 左社新
当 二一四 安藤慶次郎 無元
当 二一〇 豊泉 茂重 無新
当 二〇六 宿谷孫四郎 無元
当 二〇六 五明 昌 無新
当 二〇四 浅見 晃 無前
当 二〇三 荒井 久義 無新
当 二〇一 加藤 栄寿 無新
当 一九六 青木 直助 無前
当 一九五 清水度三郎 無新
当 一九四 吉沢 義秋 無前
当 一八九 萩原 一治 左社前
当 一八五 田中 君興 無新
当 一六九 宮岡 重治 無新
当 一五五 遠 勝士 無新
当 一五一 島田 健吉 無前
当 一四四 小林 英嗣 無前
当 一四三 三鳴 清吉 無新
当 一四一 山川 徳蔵 無新
当 一一九 天田 英邦 無新
当 一一五 渡辺 伝作 共産新
当 四三 金子 ミキ 無新

檜原村（定員一八名無投票）

小林重太郎 木材業
中村 正己 農業
浜中 久吉 木材業
峯岸 登 農業
井上 行雄 〃
山本 泰 〃
中村 隆盛 〃
坂本 為一 〃
加藤 久次 木材業
高木 秀久 酒類商
山口 浅吉 農業
根岸 英二 〃
坂本 喜助 酒類商
大谷亀之助 農業
高橋 子徳 〃
岡部 義兼 〃
小泉 秀義 〃
峯岸 朝則 〃

福生農協総会

福生町農業協同組合総会はさる四月二十八日テアトル福生で開会議事は午前中に終了された午後は映画（ニュース、劇物、家の光と農村文化）演芸（珍芸、民謡、万才奇術、浪曲）約六時間上演され盛会裡に終了した。なお総会で承認された事業目標は左の通り。

一、貯蓄目標六、〇〇〇万円、一組合員当り五万円
一、購買目標四、〇〇〇万円、生産資材生活物資主要食糧
一、販売目標七、〇〇〇俵、米麦甘藷、馬鈴薯
一、米麦受託加工目標九、六〇〇俵、精米、精麦、製粉
一、受託搾油目標四、〇〇〇貫、菜種その他
一、生命共済契約目標九六〇万円
一件八万円一二〇件
一、家の売購誘目二〇〇部

最上 醤油
古谷商店 元造醸
電話 瑞穂12番

秋多町婦人会森山支部貯蓄運動

秋多町婦人会森山支部では会員ならびに一般に貯金をし少しでも家庭経済の安定が計れたらと貯蓄運動にのりだし、このほど役員諸氏の努力が実を結び第一回の四月分は四十一人による四千百円が集り早速農協に預入し、まず好調なすべりだしだった。なお役員は本団森山支部では支部長山本ナミ、副支部長岸野サワ、役員大谷のり、伊藤ヨネ、部落役員荒井ウメ、荒井サイ、金子カツ、塩野ラク、山本セン。

秋多町々々制施行

新刊書籍雑誌
田村書房
福生駅前通り
電話 二三九

東秋留農業協同組合
多西農業協同組合
西秋留農業協同組合
祝 秋多町々々制施行

阿伎留病院
秋多町引田十三番地
電話平井二六番

壁土小口販売及び
各種燃料販売
田中燃料部
秋多町・草花

狭山堂菓子店
秋多町門前通り

東秋留商工組合
組合長 杉田万三郎
外役員一同

スタンダード・ヴアキユアム石油会社
ユニオン商会
秋多町東秋留営業所 内田嘉一郎

家具製造販売
小野木工所
店内製品豊富
どうぞ
御自由に御覧下さい
多西村高瀬
電話福生一〇七番

多満自慢
特約店 野口屋酒店
電話二〇六番

キッコーハヤ醤油
早川醤油株式会社

チビスクリュー耕耘機
新発売—1/2の価格で買える！
増産はスクリューによる深耕から
全国で一番愛用者の多い
丸宮式脱穀機
40年の歴史を誇る
脱穀機の王者
東京都代理店
青木農機具店
秋多町小川821

建具はクルイのない註文品で!!
小林木工所
福生町本町仲通り 電話七三番

内田製瓦株式会社
二宮工場（東秋留駅際）
電話福生三一〇番

登記事務一般
井堂忠事務所
司法書士 井堂忠
事務所 福生町三井田歯科前
自宅 東秋留二宮一、二六九

文化的
機械設備完備
パンと生菓子
高級和洋菓子
有限会社
土屋製パン所
電話227番